

自動運転時代の ドライブレコーダーとデータ活用 2

9/29 [木]
13:00-15:00

会場: オンライン開催
参加費: 無料

本学スマートモビリティ研究拠点(以下、SMRCと略す)では安全・快適で持続可能なモビリティ社会の実現に向けて、公的資金の獲得や民間企業との大型共同研究によりスマートモビリティに関する産官学研究プロジェクトを推進してきました。

今回は映像記録型ドライブレコーダー(以下、ドラレコと略す)によるヒヤリハットデータベースの現状について紹介するとともに、来るべき自動運転時代において必須となる技術として、人工知能によるデータ駆動型ドライバモデルの構築、ドラレコの最新解析事例、交通安全教育事例の最新情報について紹介します。

プログラム

司会 毛利 宏(東京農工大学・教授)

13:00 開会挨拶

永井 正夫(東京農工大学・名誉教授)

13:05 ヒヤリ経験のデータから駆動する推奨速度ドライバモデルの構築

齊藤 裕一(筑波大学・助教)

13:35 ドライブレコーダ映像を用いたヒトの視覚を模倣する深層学習モデルによるヒヤリハット発生メカニズムの解析とその応用

江村 恒一(パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社)

14:05 ドライブレコーダー映像を活用した交通安全教育について

久田 英之(静岡県警察本部・交通部参事官兼交通企画課長)

14:35 ヒヤリハットデータ活用の研究事例紹介

田中 勇彦(東京農工大学・客員教授)

14:50 まとめ・閉会挨拶

ポンサートン・ラクシンチャランサク(東京農工大学・教授)

※プログラムは講師の都合で予告なく変更となる場合があります

以下URLまたはQRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/Pf5kYZbCRMHnkDAo9>

定員150名(定員に達し次第、締め切りとさせていただきます)



問合せ先 東京農工大学 フロンティア研究環 スマートモビリティ研究拠点
✉ mobility@cc.tuat.ac.jp ☎ 042-388-7176

協賛 公益社団法人 自動車技術会
一般社団法人ドライブレコーダー協議会

